

## 金融研究センター特別研究員公募

## 研究プロジェクト一覧

※プロジェクト毎に任期が異なります。

## 【論文等執筆方式】

＜任期：6ヶ月＞

## 1. 高頻度取引（HFT）を用いた不公正取引に関する実証研究

寄り前気配は始値形成やその後の売買動向を読み取る重要な情報として機能してきた。しかし、HFTが普及した昨今、寄り付き間際に注文取消しや指値変更が行なわれるケースが増えてきており、寄り前気配の情報価値への疑問あるいは始値やその後の株価形成に対する操縦可能性拡大への懸念などが生じてきている。そこで、寄り前から寄り付き後の一定時間のTick Dataを用いて、当該時間帯におけるHFTの気配・価格形成への影響を実証分析することにより、そのような疑問や懸念へのインプリケーションを示す。

## 2. 不正会計の早期発見に関する海外調査・研究

不正会計の実態や動機、その兆候について、海外における先行研究を体系的に調査・研究した上で、不正会計の早期発見に向けたインプリケーションを示す。

## 3. 各国における民間保険会社による不妊治療に係る保険の状況について

先般の金融審議会「保険商品・サービスの提供等の在り方に関するワーキング・グループ」において、民間保険会社による不妊治療保険（不妊治療費の一部等を補填する保険）については、モラルリスクや逆選択の問題など当該保険の特性を踏まえた適切な商品設計・リスク管理が行えるよう、実務的に更なる検討を行い諸課題を解決し得る商品設計とした上で、実際の保険引受けが行われることが適当である、とされた。

この点について、海外においては、アメリカ、オーストラリアのように、民間の保険会社が不妊治療保険を出している国があるため、どのような保険なのか、どのようにして商品認可をしているのか（認可制ではない国については、上記のような商品組成上の各種リスクについて保険会社がどのように対応しているのか）、等について、明らかにすることにより、不妊治療に係る保険の検討の参考にした

## 4. 再保険に関する規制の動向等について

再保険については、保険監督者国際機構（IAIS）が採択した、保険監督における基本原則を定めた保険コアプリンシプル（ICP）でも記述されているところであり、出再規制、文書化ルール等の再保険の監督・規制などに関し、欧米等を中心とした諸外国の現状及び動向等について調査・研究を行う。

**<任期：1年>**

**5. 銀行分野における国際規制のあり方についての調査・研究**

銀行分野において現在検討されている国際的な規制改革に関し、規制のあり方について、調査・研究を行う（場合により、計量的な分析を含む）。

**6. 国際的な規制の導入に関する影響度評価、システミックリスク分析・評価手法等**

主に証券分野における国際的な規制の導入に関するマクロ的な影響度評価やシステミックリスク・エマージングリスクの分析・評価手法（モデル分析を含む）等について、理論のみならず計量的な分析も含んだ調査・研究を行う。

なお、研究にあたっては、国際会議への出席等海外出張も予定されることから、相当程度の英語能力が必要と見込まれる。

（以 上）